【具体方法】

㈠機関紙を日刊新聞位の大きさにすること。（従来の紙質より悪るくすれば経費の点は従来と大した変化はない）。

㈡紙面を拡張すれば従って記事の募集・編輯等にも可成りな労力を要する。故に近き将来は専門部として機関紙編輯部を設置する点ずると思ふが、現在では出版部を充実すれば充分である。

㈢数名の出版部員を置くこと。

㈣各地方評議会に一名乃至二名のレポーターを置くこと。

● 紡績女工の教育に関する件

提出　横浜合同労働組合

【決議】

本大会は紡績女工の教育程度の低劣なる現状に鑑み左の実行方法を以て義務教育の普及を計ることを決議する。

【理由】

無智は如何なる場合でも罪悪であり、無産階級の敵である。無産階級が無智であることを喜ぶものは、唯支配階級のみである。支配階級は無産階級を永遠の奴隷化せん為めには、無産階級の無智であることを要求する。

知らしむべからず依らしむべしとは、支配階級古来の哲学である。無産階級内部に於ける最も無智なる部分は紡績女工である。今日、全国に於ける紡績女工数五十万の中、義務教育を完全に卒えたるものは、僅かに、その二割強に過ぎない。斯くて大多数の紡績女工は、全く無智と盲目の化身として、屈従と隷属の牢獄に呻吟して居る。

彼女等は組合宣伝のビラ一枚、機関紙の一行すらも、完全に読み得ないではないか？　この為めにうける無産階級の打撃は甚大である。吾が評議会はこの実状に対して、あらゆる積極的活動と対策とを樹つる責任がある。

【実行方法】

(イ)大会の名を以て、全国各地の紡績工場資本家に対して普通教育機関の設置を促し、既設の工場に対しては現行の不完全なる教育機関の充実を計ることを要求すること。

(ロ)争議の場合の要求の一つとすること。

(ハ)組合の支部及分会の所在する場合はあらゆる機会に於て、女工の教育に努力すること。